

政策番号	16	政策分野	高齢者福祉
------	----	------	-------

基本方針 いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎え、今後、介護給付費をはじめとした財政需要の増大が想定されるなか、高齢者自身が就労や社会参加を通じた生きがいをづくり、健康づくりを進めることにより、活力あるまちづくりを推進する。また、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、介護・医療施設等の整備に取り組むとともに、地域住民参加型の見守りネットワークを構築し、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりを推進する。

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

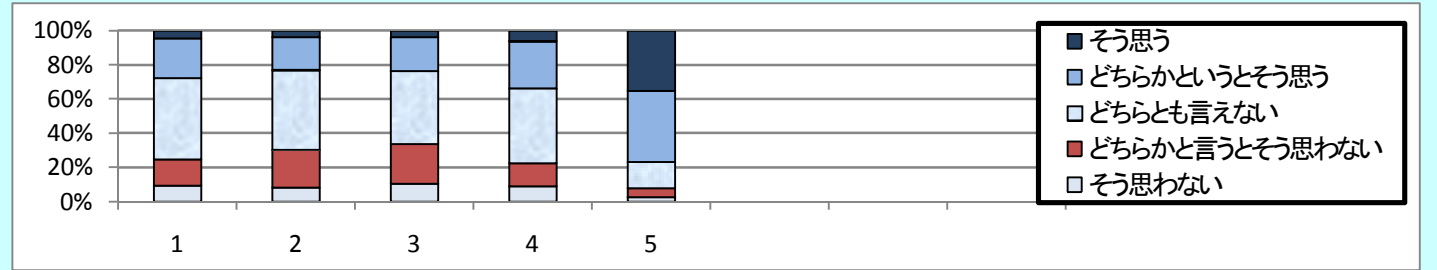
政策の評価

1 客観指標評価

指標名	23年度 評価値	32年度 目標値	年度	年度	23年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 認知症あんしんサポーター登録者数(人)	28,920	-	-	-	21,788	28,920	27,431	105.4%	a
2 施設・居住系介護保険サービス定員数(人分)	11,981	-	-	-	11,605	11,981	442人増	85.1%	a
3 地域包括支援センター相談件数(件)	239,203	-	-	-	235,007	239,203	246,757	96.9%	b
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価									a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		年度	年度	23年度
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	-	-	c
2	高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	-	-	c
3	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	-	-	c
4	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしい暮らしを送れている。	-	-	c
5	高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	-	-	a
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価				b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年度		年度		23年度	
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	-	-	1	37.8%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている	年度	-
<p>【客観指標】・認知症サポーター登録者数は、前年度から大幅に増加し、a評価となった。京都市では、厚生労働省の「認知症サポーター100万人キャラバン事業」を「認知症あんしん京づくり推進事業」と位置付け、平成18年度から平成21年度までの間にサポーターを1万人養成する目標を掲げて、取組を進めた。</p> <p>・介護保険サービス定員数は、国の補助制度「緊急整備特別対策事業」を最大限活用し、特別養護老人ホームの整備助成等を行った結果、堅調に増加し、a評価となった。</p> <p>・地域包括支援センター相談件数は、本市と地域包括支援センターが連携して周知活動に取り組んだ結果、センターが地域に浸透したことから、堅調に増加し、b評価となった。</p>		年度	-
<p>【市民の実感】・高齢化社会を反映して、介護職の重要性を肯定する回答が非常に多い。これに対して、その他の全設問の多数回答は「どちらとも言えない」であり、地域全体で高齢者を支える気運の盛り上げや仕組づくりが課題であることがうかがわれる。</p>		年度	-
<p>【総括】・客観指標が最高のa評価となり、取組が進んできたと考えられるが、市民の実感については、介護職の重要性以外は「どちらとも言えない」である。</p> <p>・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。</p>		年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
				23	
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築	-	-	B	175
1602	活力ある長寿社会の実現	-	-	C	177
1603	高齢者を支えるネットワークの推進	-	-	B	181
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現	-	-	B	183
1605	魅力ある介護現場の実現	-	-	A	187

<今後の方向性>

・平成21年3月に策定した「第4期京都市民長寿すこやかプラン」に基づき、認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援、総合的な介護予防の推進、健康増進・生きがいづくりの推進、地域における総合的・継続的な支援体制の整備、介護保険事業の適正かつ円滑な運営、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を図ることとしている。

政策名	16	高齢者福祉
-----	----	-------

指標名	認知症あんしんサポーター登録者数（人）
-----	---------------------

担当部室	長寿社会部	連絡先	251-1106
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等を学んだサポーターの登録者数

2 指標の意味

高齢者の尊厳が保たれる社会の構築に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末時点の登録者数
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	28,920	-	

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	21年度	22年度		数値	根拠	
数値	21,788	28,920	7,132人増	27,431	平成26年度末までに5万人の目標達成のために当該年度達成すべき数値(累計)	105.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		50,000	26年度		第4期京都市民長寿すこやかプラン

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

認知症に関する知識は、市民に周知されることが望ましいことから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	施設・居住系介護保険サービス定員数（人分）
-----	-----------------------

担当部室	長寿社会部	連絡先	213-5871
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

介護保険施設及び介護専用居住系サービスの定員数

2 指標の意味

介護サービスの充実度を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末時点の介護保険施設等の実定員数から前年度末時点の実定員数を差し引いて算出
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	11,981	-	

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	21年度	22年度		数値	根拠	
数値	11,605	11,981	376人分増	442人分増	第4期京都市民長寿すこやかプランに掲げる平成22年度目標値（12,449人）から平成21年度目標値（12,007人）を差し引いて算出	85.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値の前回数値からの増加分が、目標値に対して、
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、民間事業者による整備促進を図るものであることから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

政策名	16	高齢者福祉
-----	----	-------

指標名	地域包括支援センター相談件数（件）
-----	-------------------

担当部室	長寿社会部	連絡先	251-1106
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

地域包括支援センターへの年間相談延べ件数

2 指標の意味

地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	239,203	-	

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	235,007	239,203	4,196件増	246,757	前年度実績の5%増の数値	96.9%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	
----	--

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	b